

# 北海道学生ヨット連盟主催レース 感染対策運営指針

北海道ヨット学生連盟委員長

堤 麻理子

2020/08/15

## はじめに

現在、全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大している状況であり、大会開催において感染対策が必須となっております。この感染対策指針は、日本セーリング連盟が示した『セーリング競技に関わる大会等再開時のガイドライン』を元に、大会会場となる小樽市祝津ヨットハーバーの実情に合わせて作成いたしました。ここに記されていることを徹底すれば、絶対に安全というわけではございません。

感染予防には、大会参加者一人一人の心がけが必要となります。安全な大会開催に向けて、ご協力よろしくお願いいたします。

なお本文書の内容は下記対象レースにおいて規則ではなく、いかなる規則を変更するものではない。またこの運営方針は情勢等にあわせ随時変更されることがある。

## 対象レース

第47回 北海道470級・スナイプ級選手権大会 (2020/09/12, 13)

第83回 全日本学生ヨット選手権大会 北海道予選 (2020/09/19, 20, 21)

2020年度 全日本学生ヨット個人選手権 北海道予選 (2020/10/3, 4)

## 1 情報管理・運営体制

大会を開催するにあたって、感染予防の責任者は大会のレース委員長とする。また運営関係者は、各大学OB、外部協力者のみに限定し、現役部員は原則運営に参加しない。

## 2 感染発覚時の対応および情報共有体制

大会期間中に、新型コロナウイルスの感染が疑われる症状を持つ者が現れた場合は、感染予防の責任者、保健所等の医療機関に報告する。感染が発覚した場合は即座に大会を中止し、医療機関等の指示に従う。

情報共有のため、大会参加者(選手、支援者、運営関係者)全大会関係者の名前、連絡先、住所といった個人情報を収集する。

健康状態を含む個人情報は、通常プライバシー保護の観点で感染予防担当者のみが管理するが、保健所等の要請があった場合、一部開示する。

大会終了後も、2週間は連絡、および情報共有体制を維持したのち、確実に廃棄する。

### 3 レース運営

#### 3.1 参加関係者への感染防止のための指示事項(以下は規則とし NOR または SI に記載)

##### コロナウイルス感染予防対策[DP][NP]

- I. 選手は厚生労働省が公表する「新しい生活様式」を遵守すること。
- II. 大会当日、以下の事項に該当する場合は参加を見合わせる（受付時に確認する）
  - ア. 体調がよくない場合（例：37.5℃以上の発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
  - イ. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ウ. 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- III. 大会会場では、マスクを持参の上、着用すること。
- IV. 会場では、こまめな手洗い、アルコール消毒を行うこと。
- V. 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること（できるだけ 2 m 以上）
- VI. 大会開催中は大きな声での会話、応援等をしないこと
- VII. 感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと
- VIII. 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに 濃厚接触者の有無等について報告すること

#### 3.2 エントリー受付

出艇するまで、大会関係者がハーバーに入場する際は、ゲートを設置し検温、その他健康状態のチェックを行う。

エントリー（支援艇含む）、健康チェック（全大会関係者対象）はグーグルフォームで行う。

陸上本部、受付をハウスの 1 階に設置し、2 階への立ち入りを大会運営関係者の一部の者に制限する。

参加費の受付時現金受け取りを禁止し、事前の振り込みのみとする。

#### 3.3 開閉会式/表彰式/スキッパーズミーティング（ブリーフィング）

大会会場で、集合しての開閉会式、表彰式は行わない。

運営会議、反省はハウス 2 階で役員のみを制限し、ソーシャルディスタンスを確保した上で、短時間実施。

スキッパーズミーティングは屋外で、ソーシャルディスタンスを確保した上で、短時間実施。

なお質問は基本的にメール・文書で受付し、公式掲示にて全選手に公開返答する。

#### 3.4 大会日程

各大学の会場への移動手段、運営準備にかかる時間を考慮し、レース開始時刻を昨年より 1 時間遅らせる。

#### 3.5 運営船の出艇数削減/設置マークの削減

昨年のトラペゾイドではなく、風上風下のコースとし、運営艇・運営人数の削減を行う。

#### 3.6 運営船乗艇人数制限

信号船を除き、運営船当たり最大 3 人までとし、海上での運営関係者の密を防ぐ。

### 3.7 大会準備、片付け

準備に関しては、大会前日になるべく最少人数で行う。

片付け等でのハウス2階への立ち入りは限られた者（学連関係者、陸上本部）のみに制限する。

## 4 プロテスト

### 4.1 ジュリーボート

ジュリーボートの乗艇人数を3人に制限

マスクを着用し、可能であれば電子ホイッスルを使用

### 4.2 抗議、救済要求

抗議書、救済の要求をハウス1階に設置した受付に提出

### 4.3 審問

オンサイト審問の実施

ソーシャルディスタンス確保のため、ハウス2階の運営室（運営会議を行う場所）で行う。

審問ごとに備品・機材を消毒し、パネルに入るジャッジ人数を3人までに制限。

### 4.4 付則 T の積極的採用の検討

「レース後ペナルティー」や「調停ミーティング」により審問数を低減

### 4.5 控室について

プロテスト委員会の控室は、会議室を利用し、十分な換気、ソーシャルディスタンスの確保を行う。

## 5 海上で3つの密回避 <レース艇/運営船/ジュリーボート共通>

海上では乗員同士の接近に注意する。

マスクの着用を推奨（運営艇、ジュリーボートは義務）。

こまめな手指の消毒（乗艇前とマスクや機材、筆記用具に触れた都度）を推奨。

飲料の飲みまわし禁止。昼食の個人準備（食事前の手洗い）

接触を回避するために、同一船内での役割分担を固定し、ハンドルやポールなどに複数が接触しないようにする。

## 6 陸上での3つの密回避 <着替え、トイレ>

更衣室は使用者が各自混雑具合を確認し、密集しないよう使用するものとする。

更衣室やトイレを利用したのち、またマスクを触ったあとは手洗い・消毒を行うこと。

またトイレトペーパーは各自で用意し、共有しない。

## 7 大会応援について

応援者の大会会場への入場は、極力控えるよう参加団体より周知する。

大声での応援・エールは禁止し、大会終了後は速やかに解散する。

## 8 添付図

### 8.1 ハーバー 見取り図



★ アルコール消毒設置場所

### 8.2 ハウス 見取り図

